

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2016年6月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	6/28	0	16.6	29.58	0	0	0	1120	0	
噴火湾西部		5	14.8	31.15	0	0	30	650	60	Dt60
4.0		10	13.7	31.94	0	0	180	740	190	Dn150,Dt40
		15	13.4	32.09	0	0	30	490	80	Dn60,Dro20
		20	13.0	32.18	0	0	40	300	10	Dro10
		25	12.8	32.22	0	0	0	70	10	Dn10
		30	12.3	32.33	0	0	0	50	10	Dn10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンディブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部で12.3~16.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2016年6月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	6/24	0	13.7	31.96	60	0	0	20	10	Dn10
噴火湾西部		10	12.0	32.35	10	10	0	120	50	Dn50
7.5		20	11.0	32.49	42	0	0	146	21	濾水量960ml, Dn21
		30	9.1	32.57	0	0	0	50	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェーガ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンディブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部で9.1~13.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2016年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 6.8	6/21	0	14.4	30.95	0	0	0	250	20	Dt10,Dru10
		5	14.0	31.79	0	0	0	410	20	Dn20
		10	13.9	31.89	0	0	10	110	50	Dn20,Dt10,Dru20
		15	13.5	32.07	0	0	0	160	40	Dn30,Di10
		20	13.0	32.21	0	0	10	60	30	Dn20,Di10
		25	12.6	32.26	0	0	0	0		
鹿部 噴火湾湾口部 7.0	6/21	0	12.2	32.11	10	0	30	520	170	Dn160,Dru10
		5	12.0	32.07	0	0	110	480	160	Dn140,Dt20
		10	12.0	32.35	10	0	50	190	290	Dn280,Dt10
		15	11.7	32.50	20	0	50	100	100	Dn80,Dro20
		20	11.4	32.68	0	0	0	30	0	
		25	11.3	32.74	0	0	0	20	20	Dn20
		30	11.6	32.87	0	10	0	50	30	Dn30
		40	11.6	32.97	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾東部で12.6~14.4°C、噴火湾湾口部で11.3~12.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2016年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/21	0	15.6	24.29	10	0	30	6710	300	Dn280, Dt20
太平洋中部 1.5		10	9.9	31.88	0	0	30	540	590	Dn550, Dt30, Dru10
		20	10.0	32.21	0	0	0	2140	1560	Dn1510, Dt50
		30	11.4	32.98	0	0	0	40	40	Dn40
知内	6/20	0	15.1	33.63	0	0	0	0	10	Dro10
津軽海峡 7.0		10	14.1	33.91	30	0	0	0	0	
		20	13.4	33.97	0	0	10	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

6月中旬の水温は、津軽海峡で13.4~15.1°C、6月下旬の水温は太平洋中部で9.9~15.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2016年6月13日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 14.0	6/6	0	10.1	32.09	0	0	0	350	10	Dn10
		10	8.2	32.26	0	0	0	220	430	Dn430
		20	7.4	32.50	0	0	0	40	130	Dn130
		30	6.2	32.50	0	0	0	10	30	Dn30
虻田 噴火湾東部 14.0	6/7	0	14.1	32.23	0	0	0	0	0	
		5	12.6	32.20	0	0	0	80	10	Dn10
		10	10.7	32.31	0	0	0	30	0	
		15	9.1	32.52	0	0	0	10	50	Dn50
		20	8.0	32.66	0	0	0	70	20	Dn20
森 噴火湾西部 10.0	6/7	0	13.9	32.25	40	0	0	50	0	
		10	11.8	32.33	20	0	0	50	0	
		20	10.4	32.34	10	0	0	50	50	Dn50
		30	7.2	32.76	10	10	0	60	10	Dn10

At=Alexandrium tamarense アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

6月上旬の水温は、太平洋中部で6.2~10.1°C、噴火湾東部で7.5~14.1°C、噴火湾西部で7.2~13.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)